

信州大学医学部附属病院 循環器内科に
通院中または過去に入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2023年3月30日

「光干渉断層法を用いた冠動脈病変に対する薬剤塗布バルーン治療後の急性期血管反応の評価」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。
この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	5777
研究課題名	光干渉断層法を用いた冠動脈病変に対する薬剤塗布バルーン治療後の急性期血管反応の評価
所属(診療科等)	循環器内科
研究責任者(職名)	植木 康志(血管内治療学講座 診療助教)
研究実施期間	研究機関の長による許可日～2027年3月31日
研究の意義、目的	慢性冠動脈症候群患者において、薬剤塗布バルーン治療後急性期の血管性状・治癒過程を明らかにすることを目的とした研究で、将来の医療進歩に貢献すると考えられます。
対象となる方	2022年10月1日から2026年3月31日の期間に当院で慢性冠動脈症候群について医療を受けられた方
利用する診療記録	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果、治療中の画像検査の結果、治療内容など。
他機関から試料・情報の提供を受ける方法	個人情報を削除した上で、記録媒体の郵送、電子的配信等により提供を受けます
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、薬剤塗布バルーンによる治療後の冠動脈の内膜性状・治癒過程と各種診療記録との関係性の有無について検討します。
共同研究機関名(研究責任者氏名)	長野市民病院(責任者:持留 智昭)
研究代表者	主任施設の名称:信州大学 研究責任者:植木 康
問い合わせ先	氏名(所属・職名):神崎佑介(循環器内科・医員) 電話:0263-37-3486 FAX:0263-37-3489

【既存の検体や診療記録、検査結果】を研究、調査、集計しますので、【新たな診察や検査、検体の採取】の必要はありません。

患者様を直接特定できる個人情報を削除した上で提供された試料・情報等を利用します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。